



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



主日の説教

今日のみことば

聖霊降臨の主日 A年(2023年5月28日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：使徒言行録 2章1—11節

第二朗読：コリントの信徒への手紙1 12章3b—7、12—13節

福音朗読：ヨハネによる福音書 20章19—23節

聖霊^{ふか}についての深い^{りかい}理解を求めて

復活されたイエスさまが^{あた}与えてくださるものは「平和」(ヨハ9章19節)、「遣^{つか}わす」(21節)、「聖霊」(22節)、「赦^{いや}し」(23節)、「信仰」(27節)です。

聖霊は、イエスさまと共にいた^{れい}霊のことです。十字架上でイエスさまは、霊を^{わた}渡して死んでいきます。新共同訳聖書には明確に表れませんが、フランシスコ会訳には次のようにあります。

「イエスは酸^すいぶどう酒を受けると仰^{おお}せになった『成^なし^と遂げられた』。そして頭^たを垂れ、霊をお渡しになった」(ヨハ19章30節 フランシスコ会訳)

ですから、聖霊を与えるとは、イエスさまご自身を与えることに他ならないのです。

【三つの点から聖霊^{こうりん}降臨の出来事を黙想しましょう】

聖霊を祈り求めるマリアと使徒^{しと}たち

第一朗読には示^{しめ}されていませんが、約束された聖霊を待つ間、マリアは使徒^またちと共に祈り求めます。

聖霊降臨は一つに集めるといふ出来事

理解^あし合えない者が、一つに集まり、互いに理解できるようになりました。それは聖霊^{はたら}の働きのおかげです。神が聖霊を通して、共にいてくれるからなのです。

聖霊のめぐみ

主キリストは、約束した聖霊を今も送り続けています。そして、この聖霊は古びることなく、絶えず新しいまま、生き生きとして神さまのいのちを人間に与え続けるのです。聖霊を受けて生きる人は、新しい生き方へと招かれています。

パウロは聖霊の結ぶ実りを「霊の結ぶ実^みは愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、」(ガラ5章22節)と言っていますが、聖霊の実りを次の四点からまとめることができます。

「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」(ロマ5章5節)とあるように、聖霊は神さまの愛そのものです。この聖霊が注がれると人は、愛に生きようになるのです。互いに愛し合いなさいというイエスの掟を生きるためには愛の原動力となる神的なもの、聖霊が復活したキリストによって注がれなければなりません。

聖霊は交わりの源です。父である神は、聖霊を与えることで完全に御子をわたしたちに与え尽くしました。イエスの洗礼の時のように、御父と御子の出会いと一致は聖霊においてなされました。同様にわたしたちがキリストのものとなるためには聖霊を受けなければなりません。逆に、聖霊を自分のうちに持っていないものはキリストに属さないのです(ロマ8章9節)。

聖霊によって与えられる新しいいのちは、滅びることのない永遠のいのちです。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタ28章20節)というキリストの約束は、聖霊において実現してゆくのです。

また、イエスに「アッパ、父よ」と祈りを唱えさせた聖霊が、同じように私たちにも同じ祈りを唱えさせてくださるのです。そして聖霊が、私たちにキリストの道を歩みたいという望みを呼び起こしてくれます。